

上関地点 2024年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	4月 4日 5月 9日 6月13日 7月10日 8月 8日 9月 5日	水素イオン濃度、浮遊物質ともに管理目標値内であった。			
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.7~8.0	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質 (日平均値)	3mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月 9日 4月23日 5月 7日 5月21日 6月 4日 6月18日	鼻線島において、4・5・6月に親鳥(雄・雌)を確認し、4月にヒナ1羽を確認したが、幼鳥は確認されなかった。			写真1
	植生	5月13、14日	イヨカズラを5箇所11株、ジュウニヒトエを26箇所195株、イヌノフグリを4箇所43株、キンランを1箇所1株、ギンランを1箇所1株、ビヤクシンを1箇所1株確認した。			写真2
海生生物	潮間帯生物	4月9、10日	植物ではクロメ、サンゴモ亜科など57種、動物ではアマガイ、カメノテなど46種を確認した。			写真3
	海藻草類		ワカメ、サビ亜科など49種を確認した。			
	底生生物		アカウニなど5種を確認した。			
	スナメリ	4月~9月 (週1回・計23日) (8月1回を延期) ^{※1}	確認回数は計53回、延べ135頭を確認した。			写真4
	カクメイ科等の貝類	5月7~9日 8月7~9日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール ^{※2} 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所で調査を実施した。			

※1 台風10号の接近に伴い、8月調査(1回)を10月に延期

※2 タイドプール：干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視調査計画以外の環境調査》

- カンムリウミスズメ(写真5)
7月に延べ4個体(祝島の南東[1個体]、天田島の南[3個体])、8月に1個体(天田島の南)を確認した。
- カラスバト(写真6)
鼻線島において、4月に鳴き声、5月に姿、7月、9月に姿と鳴き声を確認した。
計画地点においては、確認されなかった。
なお、台風10号の接近に伴い、8月調査を10月に延期した。
- クロサギ(写真7)
鼻線島において、4月から6月の各月で周辺の岩場等で1羽が確認され、7月に2羽の幼鳥が確認されたが、既知営巣地の利用は確認されなかった。
- ミサゴ(写真8)
鼻線島において、7月に巣立ち後の幼鳥3羽を確認した。
天田島においても、6月に巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



親鳥(雌)(4月9日)



親鳥(雌・雄)(4月9日)

写真2:植生



イヨカズラ(5月13日)



ジュウニヒトエ(5月13日)



イヌノフグリ(5月14日)



キンラン(5月13日)



ギンラン(5月13日)



ビャクシン(5月13日)

写真3: 潮間帯生物、海藻草類、底生生物



クロメ(4月10日)



アマガイ(4月10日)



ワカメ(4月10日)



アカウニ(4月10日)

写真4: スナメリ



(6月12日)

写真5: カムリウミスズメ



(7月 2日)

写真6: カラスバト



(5月30日)

写真7: クロサギ



(7月 5日)

写真8: ミサゴ



(7月 5日 鼻線島)



(6月18日 天田島)